



LBC-725D

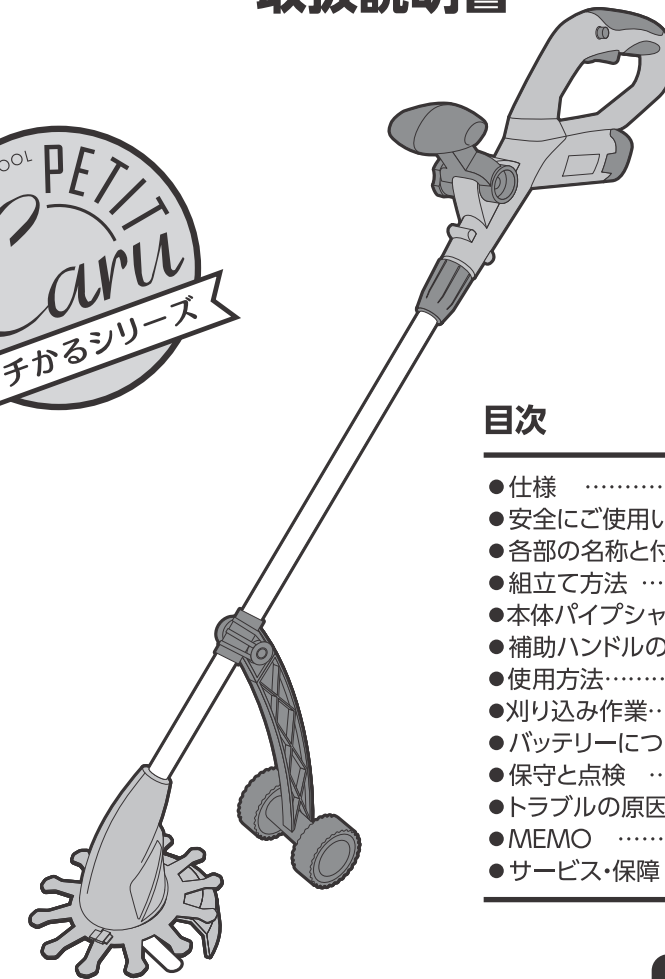
7.2V充電式

家庭用

グラストリマー

補助キャスター付

取扱説明書



目次

●仕様	1
●安全にご使用いただくために	1～2
●各部の名称と付属品	3
●組立て方法	4～7
●本体パイプシャフトの伸縮調整方法	8
●補助ハンドルの調整方法	8
●使用方法	9
●刈り込み作業	10
●バッテリーについて	11
●保守と点検	12
●トラブルの原因と対策	12
●MEMO	13～14
●サービス・保障	15

お客様へ

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。



警告

安全のため 必ず この取扱説明書をよくお読みください。

本機の使用方法を誤りますと、けがをするなど大変危険です。

本機は充電式の草刈機です。バッテリーを付けた状態で保管したり持ち運ぶと不意に動く可能性があり大変危険です。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

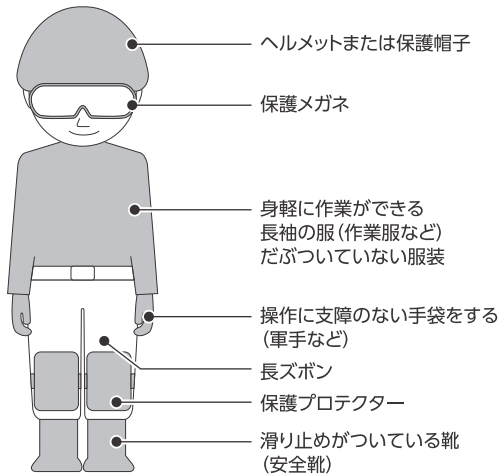
仕 様		
型 番	LBC-725D	
電 圧	直流7.2V	
回 転 数	約13,000min ⁻¹ (回転/分)	
本 体 寸 法 (約 m m)	全長960～1,060×全幅145×全高190 ^{*1}	
本 体 重 量	約1.1kg ^{*2}	
実 作 業 時 間	約20分 ^{*3}	

※1.本体寸法は樹脂ブレード・安全カバー・バッテリー含む、補助キャスター・キワ刈リガード含まず。
※2.本体重量は樹脂ブレード・安全カバー・バッテリー含む、補助キャスター・キワ刈リガード含まず。
※3.実際に刈る草木の種類、刃物の状態、充電の状態によって変わることがあります。
※改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電器

入 力 電 圧	単相交流100V
入 力 周 波 数	50/60Hz
入 力 容 量	70W
出 力 電 圧	7.2V
出 力 電 流	1.5A
充 電 時 間	約2時間

下図のような動きやすい服装で作業をおこなってください。



安全にご使用いただくために

この度は7.2V充電式グラストリマー「LBC-725D」を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書を良くお読みいただき、警告および注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる場所へ、大切に保管しておいてください。

※ここに示した警告及び注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

本機は充電式の草刈機です。バッテリーを付けた状態で保管したり持ち運ぶと不意に動く可能性があり大変危険です。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

- 輸送途中の衝撃などの理由で部品や金具が緩んだり破損する事があります。ご使用前に必ず各部を確認してください。緩んだ状態や破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因となります。異常が見つかった場合、お買い求めの販売店か商品問い合わせ先までご相談ください。
- 作業者は長袖、長ズボン、滑りにくい運動靴、保護メガネ、ヘルメットまたは帽子、プロテクター、手袋等を必ず身に付けてください。身につけないと、処理物が飛散したときなど、思わぬ事故の原因となります。
- 安全カバーは必ず取り付けてご使用ください。取り付けないと、作業中に処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因となります。
- 作業前に樹脂ブレード、安全カバーに欠けや割れが無いか確認してください。
- 作業前に作業をする場所の小石、空き缶、金属片等を取り除いてください。樹脂ブレードに当たると飛散し、事故、けがの原因となります。
- 作業場に電線などが無い事を確認してください。電線などがありますと樹脂ブレードで切断のおそれがあり、感電や火災、漏電の事故の原因となります。
- 雨の中や雨上がり、散水直後の刈り込みはしないでください。感電や漏電のおそれがあり大変危険です。
- 揮発性可燃物（シンナー、ガソリン等）の近くでは絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 作業中は、本機のハンドル、補助ハンドルをしっかりと握ってください。しっかりと握っていないと作業中に本機が振れて事故の原因となります。

- お子様や使用方法がわからない方には絶対に使用させないでください。
- お子様や作業員以外の人を作業場15m以内に近づけないでください。作業時に飛散した石ころや異物でけがをするおそれがあります。
- 運転中は絶対に回転部に手や足等を近づけないでください。
- 次の作業のときは、必ずバッテリーを本機から外して作業してください。
 - ・回転部の異物を取り除くとき。
 - ・回転部に直接触れるとき。（樹脂ブレードの交換など）
 - ・調整、点検を行うとき。
 - ・本機を持ち運ぶとき。
 - ・本機を使用しないとき、保管するとき。
- 本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は、ただちに使用をやめてお買い求めの販売店、または商品問い合わせ先までご連絡ください。
- お客様ご自身での修理、改造は絶対にしないでください。重大な事故の原因となります。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。電源コードを持って電源コンセントからプラグを抜かないでください。火災やショートの原因となって大変危険です。
- 不意な始動の原因になりますので、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
- 専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリーを使用しないでください。充電器やバッテリーは絶対に改造しないでください。
- 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に絶対に触らないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな流水で充分洗い医師の診察を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になる事があります。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。リサイクルのため、お買い上げの販売店へご持参ください。
- ラッカー・ペイント・ベンジン・シンナー・ガソリン・ガス・接着剤などがある場所では充電しないでください。
- 充電器のバッテリー接続部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。バッテリーを工具箱や釘袋など金属と一緒にいるおそれがある場所には保管しないでください。発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- バッテリーに釘などの尖ったものを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- 正しく充電してください。
- ぬれた手で触らないでください。

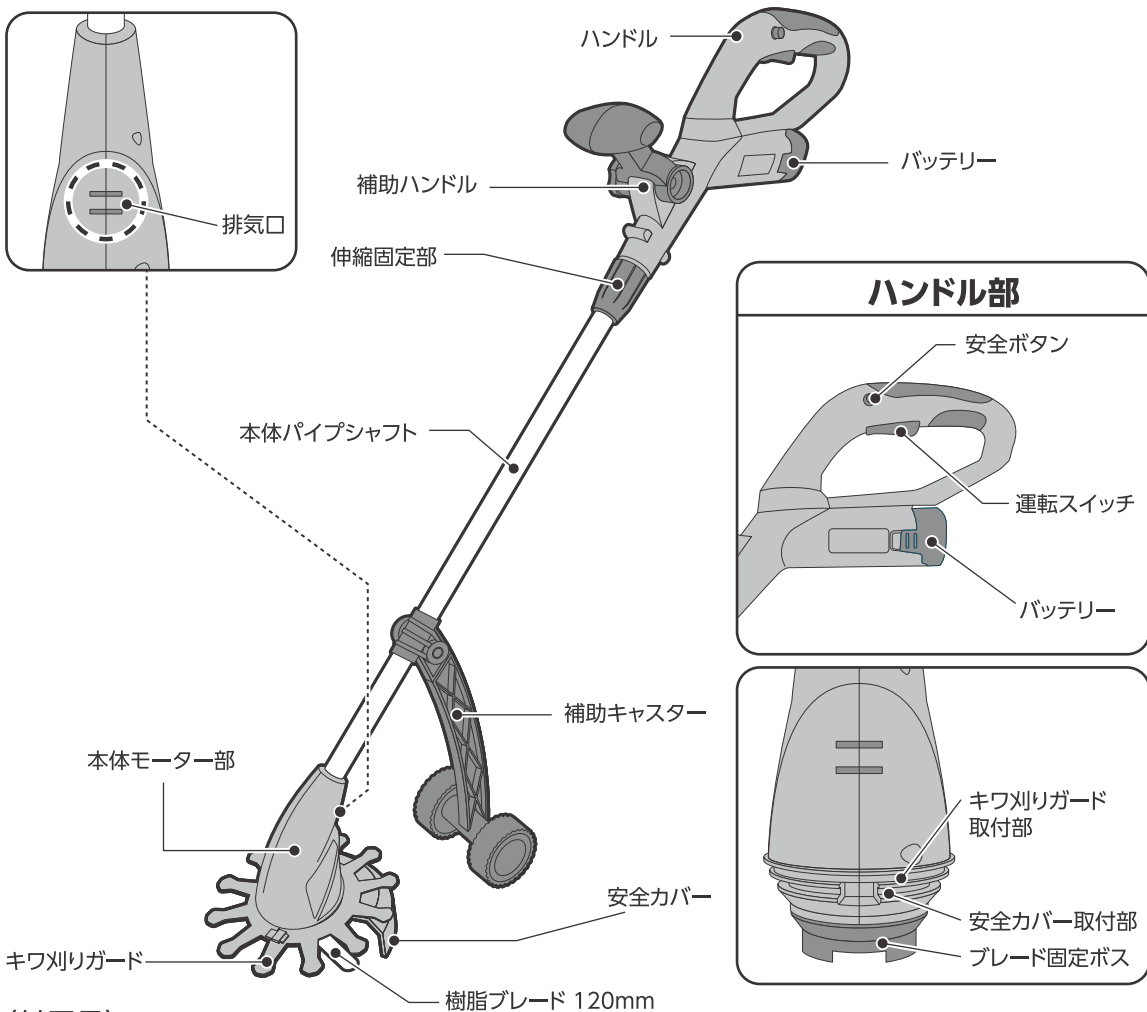


注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。取り付けが確実でないと外れたり、事故の原因となります。
- 本機は大事に使用してください。誤って落としたり、ぶつけた場合は異常の有無を確認してください。
- 本機を保管するときは、お子様の手の届かない場所に安全な状態で保管してください。湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。
- 注意に表記してある場合でも状況によっては、死亡、重症等の重大な事故につながるおそれがありますので、必ず守ってください。

各部の名称と付属品



〈付属品〉

①安全カバー×1 ※①は本体に取付け済	②キワ刈りガード×1 ※②は本体に取付け済	③補助キャスター ③-1 補助キャスター 固定ノブナット×1 ③-2 補助キャスター 固定部品×1	④バッテリー×1 	⑤充電器×1
⑥樹脂ブレード 120mm×21 ※⑥の1枚は本体に取付け済	⑦スチール ブレード×1 ※⑦は本体に取付け済	⑨ネジ (ワッシャー・スプリングワッシャー付き) ×4 ※⑨の2本は本体に取付け済。 スチールブレードのパッケージに2本取付けています。 スチールブレードの取付けに使用します	⑩保護メガネ×1 	⑫取扱説明書 (本書)×1
	⑧ブレード 固定カバー×1 ※⑧は本体に取付け済	⑪ドライバー×1 		

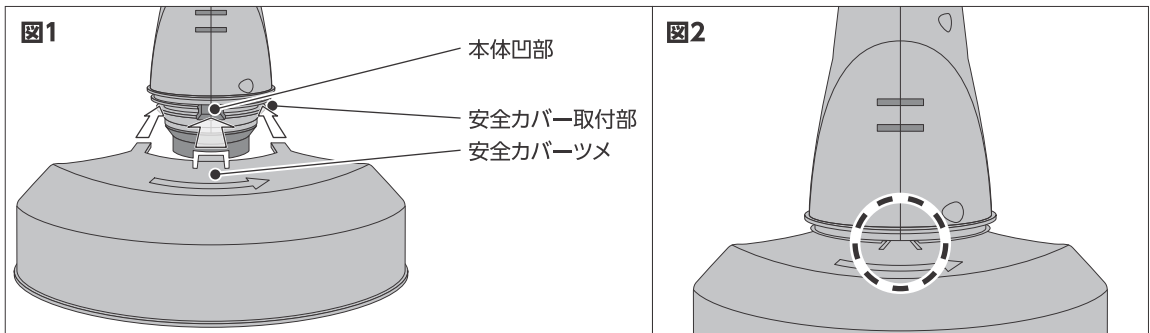
組立て方法

1 安全カバーの取付け方 ※ご購入時は本体に取り付け済です。

注意

- 必ず安全カバーを取り付けて使用してください。
- 安全カバーを取り付けずに使用すると処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因になります。

- ①本体の安全カバー取付部に、安全カバーをはめ込んでください。(図1)
- ②安全カバーのツメを、本体凹部に「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。(図2)

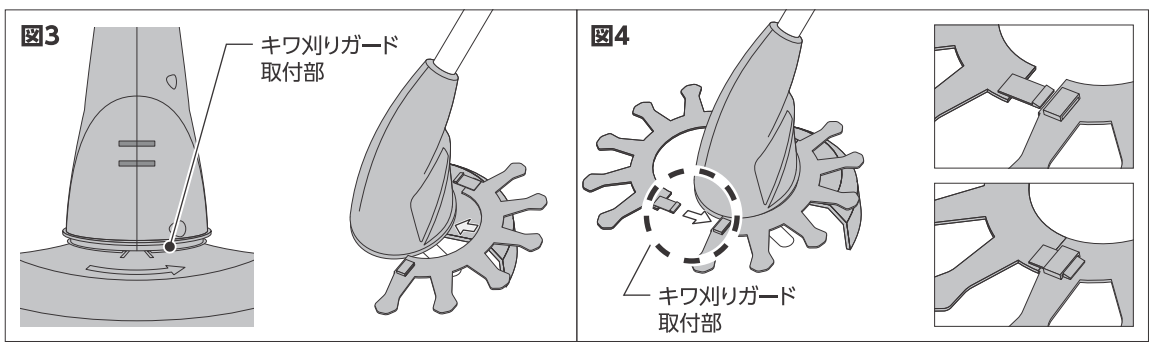


2 キワ刈りガードの取付け方法 ※ご購入時は本体に取り付け済です。

注意

- 壁面などのキワ刈り作業には、キワ刈りガードを取り付けて使用してください。
キワ刈りガードを取り付けずに使用すると、壁面の破損やブレードを傷める原因になります。

- ①本体のキワ刈りガード取付部に、キワ刈りガードを1枚はめ込んでください。(図3)
- ②もう1枚のキワ刈りガードを反対側にはめ込んでください。(図4)
- ③キワ刈りガード接続部2か所を、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。(図4)

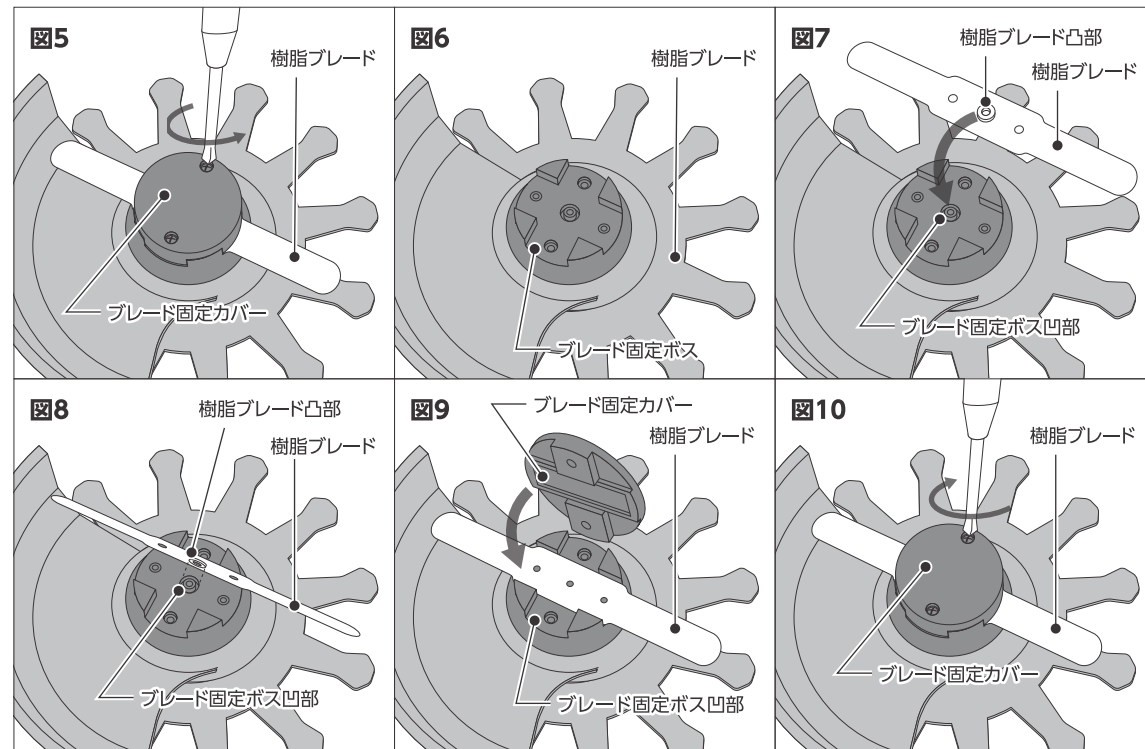


3 樹脂ブレードの取付け方法

⚠ 警告

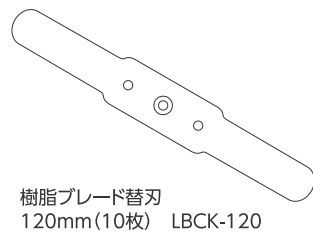
- 樹脂ブレードの交換時には、必ずバッテリーを外した状態でおこなってください。
また、必ず丈夫な手袋を着用しておこなってください。
- 樹脂ブレードの取付け・取り外しの際はモーター軸が回転するので、刃先を指で固定しドライバーでゆっくりとネジの締め外しをおこなってください。※電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

- ①ブレード固定カバーにある2か所のネジを、付属のドライバーで左に回して(反時計回り)取り外してください。(図5)
 - ②古い樹脂ブレードを取り外してしてください。(図6)
 - ③新しいブレードをブレード固定ボスに取り付けてください。樹脂ブレードを取り付けるときは、樹脂ブレードの凸部をブレード固定ボスの凹部に差し込んでください。(図7・8)
 - ④新しい樹脂ブレードをセットしたブレード固定ボスにブレード固定カバーを被せ、ネジで2箇所を付属のドライバーで右に回して(時計回り)強く締めてください。(図9・10)
- △樹脂ブレードを外すときは、取付けと逆の手順でおこなってください。
△定期的にブレード固定カバーのネジが緩んでいないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
△樹脂ブレードには裏表がありません。どちらでも使用できます。



〈別売り品〉

5

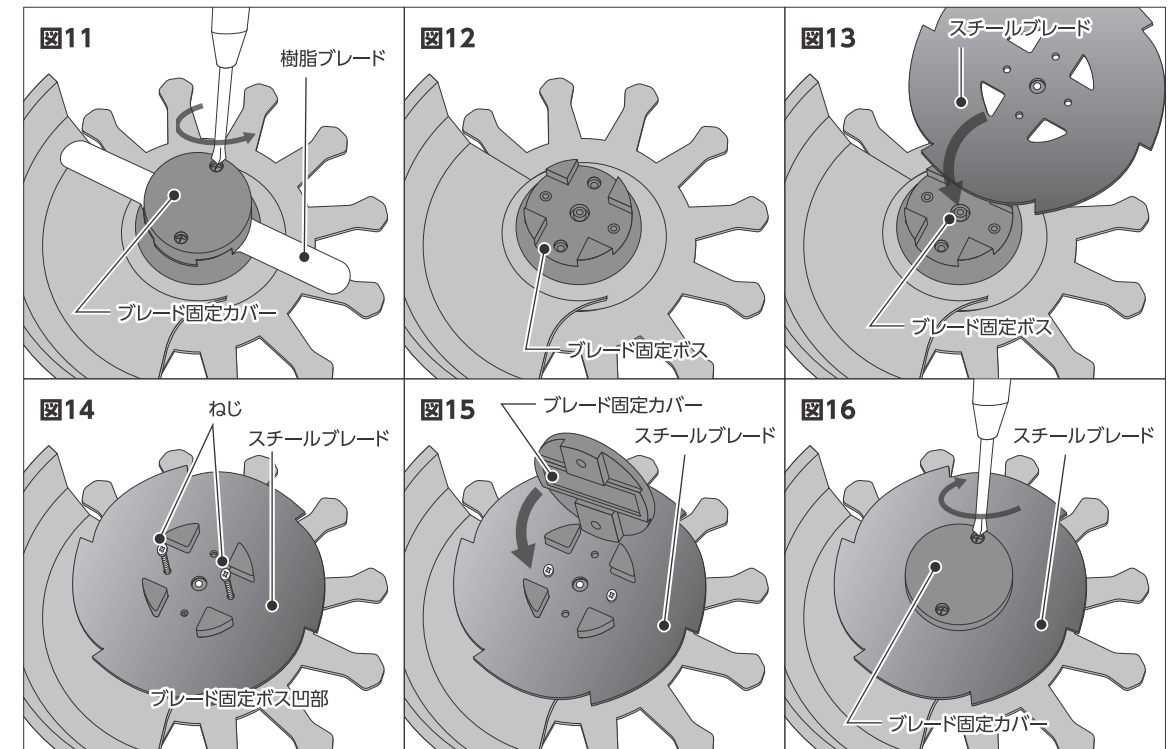


4 スチールブレードの取付け方法

⚠ 警告

- スチールブレードの交換時には、必ずバッテリーを外した状態でおこなってください。
また、必ず丈夫な手袋を着用しておこなってください。
- スチールブレードの取付け・取り外しの際はモーター軸が回転するので、刃先を指で固定しドライバーでゆっくりとネジの締め外しをおこなってください。※電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

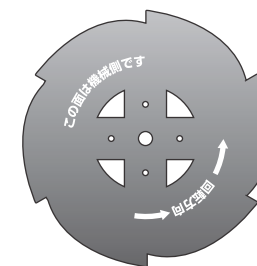
- ①ブレード固定カバーにある2か所のネジを、付属のドライバーで左に回して(反時計回り)取り外してください。(図11)
 - ②古い樹脂ブレードを取り外してしてください。(図12)
 - ③新しいブレードをブレード固定ボスに取り付けてください。スチールブレードを取り付けるときは、スチールブレードの凸部をブレード固定ボスの凹部に差し込んでください。(図13・14)
 - ④新しいスチールブレードをセットしたブレード固定ボスにブレード固定カバーを被せ、ネジで2箇所を付属のドライバーで右に回して(時計回り)強く締めてください。(図15・16)
- △スチールブレードを外すときは、取付けと逆の手順でおこなってください。
△定期的にブレード固定カバーのネジが緩んでいないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
△スチールブレードには裏表があります。矢印の文字が刻印された面が本体側になります。



〈別売り品〉

6

スチールブレード替刃



補助キャスターを樹脂ブレードとスチールブレードで使用の場合

目 補助キャスターの取付け方法

●補助キャスターを使用することで前後に転がしながら楽に作業ができます。

取付け

- ①補助キャスターに取付けてある補助キャスター固定ノブナットと補助キャスター固定部品を取り外してください。(図17)
- ②補助キャスター本体のポール取付け部にポールをセットし、反対側から補助キャスター固定部品で挟み込んでください。補助キャスター固定部品を取り付ける際は、補助キャスター本体の穴に補助キャスター固定部品のツメを差し込んでください。(図18)
- ③補助キャスター固定ノブナットを補助キャスター本体側から差し込んで、ポールに補助キャスター本体と補助キャスター固定部品を仮止めしてください。(補助キャスター固定ノブナットは、右(時計回り)に回すと締まります)。補助キャスターをスライドして、作業しやすい位置で右(時計回り)に回し、しっかり締めて固定します。(図19)

⚠補助キャスターを外すときは、取付けと逆の手順でおこなってください。

⚠ 注意

ブレードを地面に着けた状態で使用しないでください。

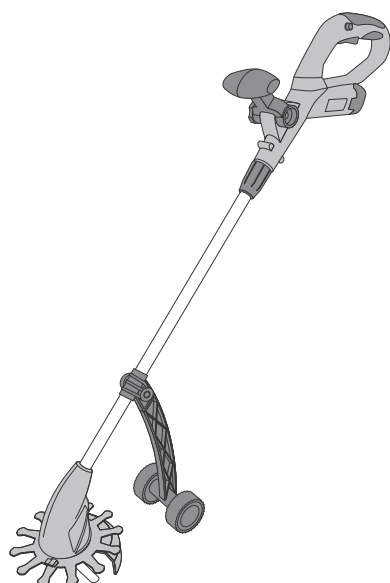


図17

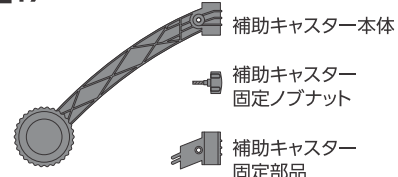


図18

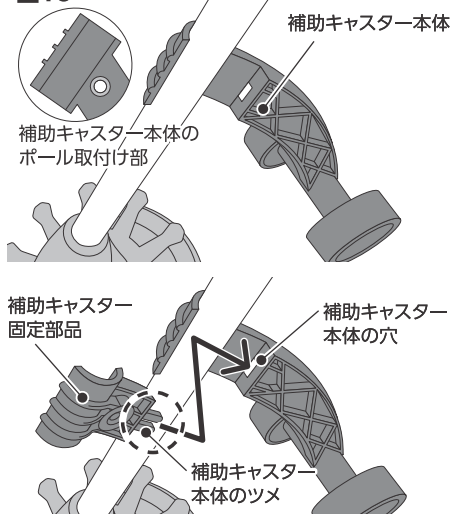
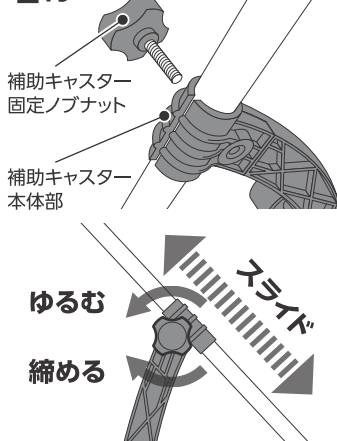


図19

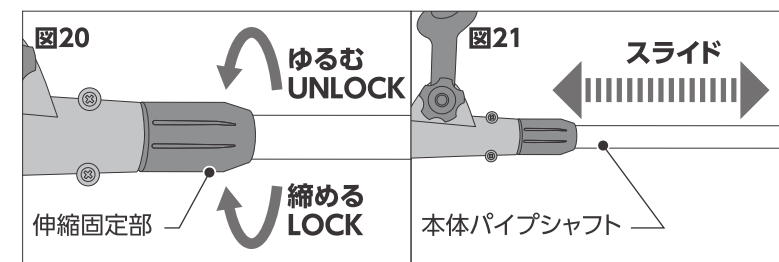


本体パイプシャフトの伸縮調整方法

⚠ 警告

- 本体パイプシャフトの伸縮中、無理に押しったり引いたりしないでください。故障・破損の原因になります。
- 必ず本体パイプシャフトを固定した状態で使用してください。固定しない状態で使用すると事故・破損の原因になります。

- ①伸縮固定部をUNLOCK方向へ回します。(図20)
- ②伸縮固定部がゆるんだら本体パイプシャフトをスライドさせます。(図21)
- ③作業しやすい長さで伸縮固定部をLOCK方向へ回し、しっかり締めます。(図20)

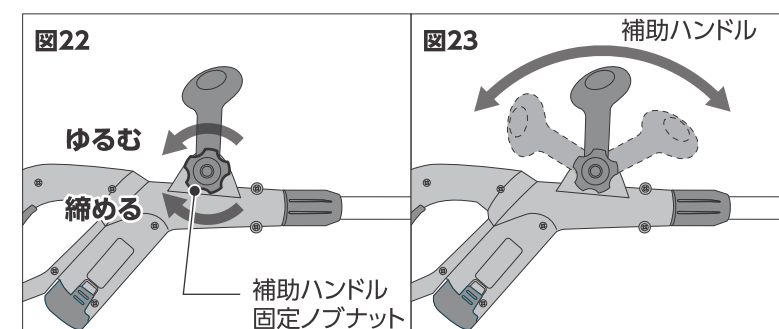


補助ハンドルの調整方法

⚠ 警告

- 必ず補助ハンドルを固定した状態で使用してください。固定しない状態で使用すると事故・破損の原因になります。
- 補助ハンドルの角度調整の際は、補助ハンドルを無理に動かさないでください。破損の原因になります。

- ①補助ハンドル固定ノブナットを左(反時計回り)に回します。(図22)
- ②補助ハンドル固定ノブナットがゆるんだら、補助ハンドルの角度を調整します。(図23)
- ③作業しやすい位置で右(時計回り)に回し、しっかり締めて固定します。(図22)

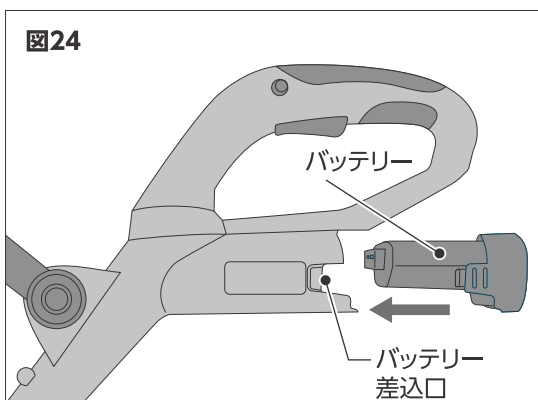


使用方法

1 バッテリーの取付け・取り外し方

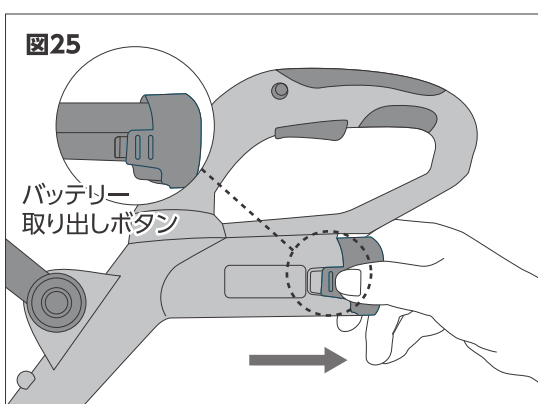
《本体への取付け方法》

バッテリーを本体のバッテリー差込口に「カチッ」と音がするまで差し込みます。(図24)



《本体から取り外す方法》

バッテリーの取り出しボタンを親指と人さし指で押しながら、バッテリー全体を掴み本体から抜き出します。(図25)

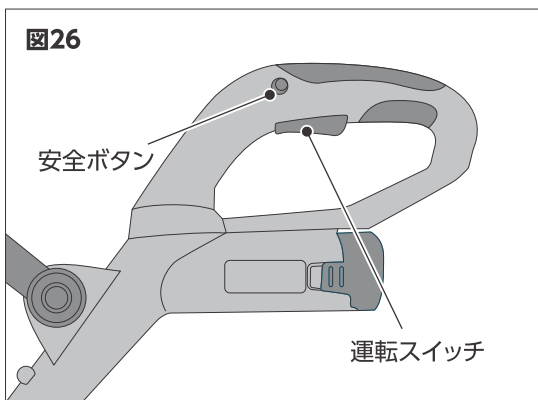


警告

保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを外してください。

2 運転スイッチの操作

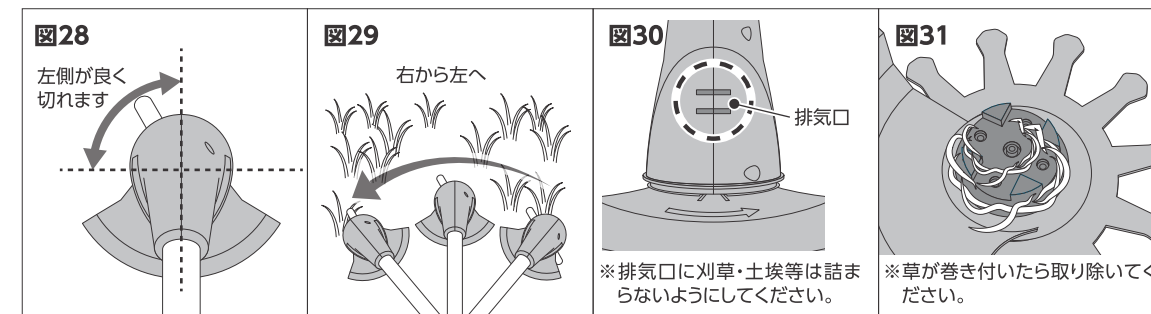
- ①安全ボタンを押したまま運転スイッチを握ると作動します。作動したら安全ボタンから手を放してください。(図26)
- ②運転スイッチを離すと停止します。安全ボタンを押さなければ運転スイッチは入りません。



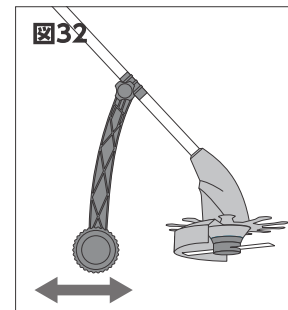
刈り込み作業 (故障なく、長くご使用いただくために、下記の事にご注意ください。)

作業前に作業する場所の小石・空き缶、金属片等の障害物を取り除いてください。

- ①本機を体の右側で持ってください。
- ②左手で補助ハンドル・右手でハンドルを握り、安定した姿勢で作業してください。(図27)
- ③ブレードを地面から浮かし、少し左に傾け、作業してください。(図27・28)
- ④ブレードは反時計回りに回転しますので、左側が良く切れます。右から左に回すように刈ってください。(図28・29)
- ⑤草の密集した場所で押し付けるようにするとモーターの回転が落ち、機械に負担がかかり故障の原因になります。回転が落ちないように作業してください。
- ⑥モーター部排気口に刈草・土埃等が詰まらないよう、時々点検し、除去してください。排気口が詰まった状態で使用するとモーター焼けの原因となります。(図30)
- ⑦安全の為に、定期的にブレード固定カバーのネジが緩んでいないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
- ⑧使用中に異常な振動があった場合は、ただちに作業を中止してください。
- ⑨草が巻き付いたら取り除いてください。回転が落ちたり、モーターが止まったりしてモーター焼けの原因になります。ブレードとキワ刈りガードの間や安全カバーの間に草が巻き付いていることがありますので、巻き付いた草を取り除いてください。(図31)



- ⑪補助キャスターを使用して作業する際は、作業前に必ず補助キャスターの位置を調整してください。
※ブレードを地面に着けた状態で使用しないでください。
※樹脂ブレードは裏返して両面使用できます。スチールブレードは片面のみです。
- ⑫ゆっくり前後に動かして草を刈ってください。(図32)
※補助キャスターは前後方向のみに動きます。無理に左右に動かすと、うまく刈り込めないだけでなく破損の原因となりますのでご注意ください。



警告

●からんだ草を取り除く際は、必ずバッテリーを抜いてください。

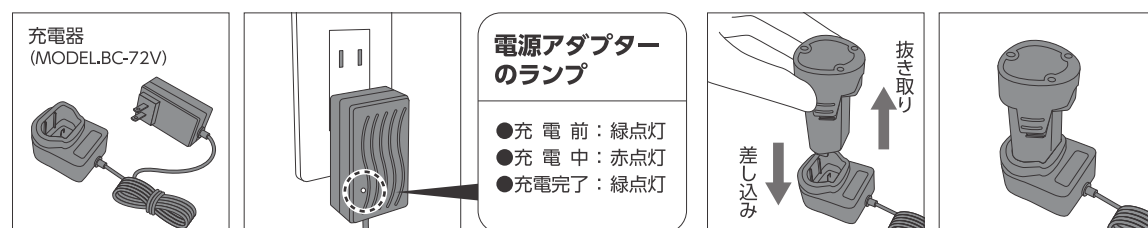
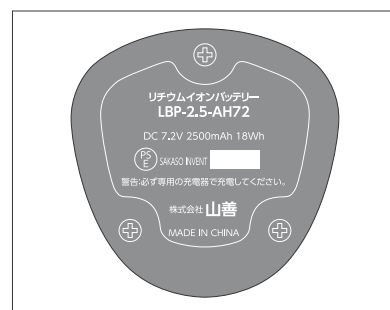
バッテリーについて

⚠ 警告

- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 専用の充電器やバッテリーを使用してください。指定したバッテリー以外は充電しないでください。

■ バッテリーの充電方法

- ①充電器の電源アダプターを電源コンセントに差し込みます。
 - ②バッテリーを充電器に奥までしっかり差し込むと、充電を開始します。
 - ③充電が完了したら、バッテリーを充電器から抜き取ります。
 - ④充電器の電源アダプターを電源コンセントから抜き取ります。
- ※フル充電の所要時間目安は約2時間です。実際には、充電時の気温や室温、電池の残量などにより充電時間は異なります。



※バッテリーを充電器の奥までしっかり差し込んでも、赤点灯に変わらず充電を開始せずにバッテリーが熱くなった場合は冷却後再度充電してください。冷却後再度充電をしても赤点灯に変わらず充電を開始しない場合は、バッテリー不良・ショート等の可能性があります。お買い求めの販売店、または商品問い合わせ先までご相談ください。

■ バッテリー保護機能

本機で作業中、下記状態になるとモーターが停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- 本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。トリガースイッチをいったんはなし、再度握りなおしてください。
- バッテリー容量が少なくなるとモーターが自動停止します。

⚠ 注意

炎天下での作業でバッテリーが高温になるとモーターが自動停止します。

■ バッテリーを長持ちさせるには

- 力が弱くなってきたと感じたら、充電してください。
- フル充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリーは、冷やしてから充電してください。

■ バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い求めの販売店へご持参ください。

使用後はリサイクルへ



保守と点検

⚠ 注意

保守と点検をするときは、必ずバッテリーを外した状態でおこなってください。

- 使用後は乾いた布で、油汚れなどの汚れをよく拭き取ってください。
- 高温・多湿、雨の当たりやすい軒下などを避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- モーター排気口に付いた草などはブラシで落としてください。
- 定期的にブレードのネジ、ブレード固定カバーのネジが緩んでないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。

トラブルの原因と対策 (本製品は一般家庭での草刈を目的にしていますので、広範囲での使用は避けてください。)

⚠ 警告 原因の調査や対策を講じられる場合は必ずバッテリーを外してからおこなってください。

症状	原因	対策
動かない	バッテリーが抜けていませんか。	バッテリーを本機にしっかり差し込んでください。
	バッテリーの温度が高温になっていませんか。	本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを冷ましてください。
	過負荷になっていませんか。	本機よりバッテリーを取り外し、過負荷の原因を取り除いてください。
	バッテリー容量が少なくなっていないですか。	本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
	草などが巻き付いていませんか。	バッテリーを外し、草などを取り除いてください。
異音・振動	ブレードがカケたり割れたりしていませんか。	バッテリーを外し、ブレードを新品と交換してください。
	ブレードは正しく取付けられていますか。	ブレードの取付け方法を参考に、正しく取付けてください。
うまく草が刈れない	刈り込むスピードが速すぎませんか。	本機が刈り込む速度に合わせゆっくり進んでください。
	モーターに負荷を掛け過ぎていませんか。	ブレードを地面につけた状態で使用しないでください。

表中に記載されていない故障など、ご不明な点は、お買い求めの販売店、または商品問い合わせ先までご相談ください。